



ソフトウェア構成管理

情報サービスの事業者は、ソフトウェア構成管理を怠ると深刻なコスト損失を被りかねません。予期せぬ結果の発生、問題の拡大、ずさんな変更、その場しのぎの対応、士気の低下、顧客の不満といった事態が生じ、その結果、作業のやり直しや中断、ビジネスチャンスの喪失につながります。

この1日間のコースは、ソフトウェア構成管理を理解し活用するスキルを身につけ、チームの生産性を向上させることを目標とします。

■ コースの目的

このコースでは、次のことを学びます。

- 今日の情報サービス環境における構成管理の重要性の理解
- 構成管理システムの基本原理、用語、構造の理解
- 構成管理システムを確立もしくは見直すスキルを身につける

■ コースの成果

コースに参加すると、下記の効果が得られます。

- プロジェクトの協働体制の改善
- 生産性の向上
- サービス改善による顧客満足度の向上

■ コース形式

実践的な演習をはさみながらプレゼンテーションを行います。コース教材は、プレゼンテーション資料、その他追加資料になります。

■ 対象者

- 構成管理の実装や、現行の構成管理システムの見直しを検討している上級要員、チームリーダー、マネージャ
- ITサービスの管理部門の担当者
- 構成管理技法の概念および適用についてトレーニングを必要とする要員

■ コース内容

- なぜ構成管理を行うのか
- 制御の時期および対象の特定
- 構成管理データベース
- 状況報告
- 役割と責任
- ソフトウェアの配布と制御
- 構成品目の品質制御
- 構成状況報告
- 支援ツール
- 変更管理とリリース調整
- 問題管理
- 効率と有効性の測定
- 他のプロセスとの関係
- 実装上の課題

■ 準備作業

準備は必要ありませんが、社内における構成管理手順について知識を深めておくと、このコースから得られるものも一層大きくなります。